

キキョウラン(ユリ科)

Dianella ensifolia (L.) DC.

兵庫県：Bランク

環境省：-

種の概要

海岸にはえる多年草で、太い根茎は古い葉鞘で被われる。葉は線形で長さ40-60cmになり、幅15-20mm、革質で厚く、基部は互いに重なり合って花茎の下部につく。花茎は高さ50-100cm、退化した小型の葉がつく。花はまばらな円錐花序となり、5-7月、横向きまたは下向きに開く。花柄は長さ7-15mmで、卵状披針形の苞がある。花被片は6個、青色で狭長楕円形、長さ6-8mm、平開し、先が反りかえる。花糸は上半部で膝折れし、先に肥厚部がある。葯は線状楕円形で黄色。

国内分布

本州（紀伊半島、淡路）、四国、九州、沖縄、小笠原

県内分布

西淡町、南淡町

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
		○			○	○



特記事項

新しい自生地がみつかってきている。分布の北限。

保護上の留意点

生育地の保全